

吉岡進キャプテン F×F TOKYO BAY

★吉岡進さんがキャプテンを務めるチャーターボート「F×F TOKYO BAY」が就航。船着き場は千葉県市川市の江戸川放水路。ボートはキャストしやすい広めのフラットデッキの和船タイプで、10名まで乗船可能だが、釣りやすいのは6名くらい。東京湾内～走水沖までのアーバンエリアで、シーバス、青物、タチウオを始め、マゴチ、アジ、メバルなど幅広いターゲットを狙える。いずれも吉岡さんが得意とする釣り物ばかりで、ガイドはもちろん希望すれば追加料金なくマンツーマンでアドバイスしてくれる。料金など詳細はF×F TOKYO BAYのホームページにて。

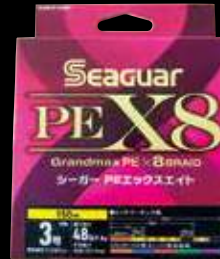


★吉岡さんがアングラーからキャプテンに变身

シーガー グランドマックスFX

●リーダー(耐久性・耐摩耗性などすべてに優れた「シーガーグランドマックスFX」を使用

シーガー PE X8



●マダコ用の道糸は最低でも3号以上を使用したい。もちろん信頼の「シーガーPEX8」なら安心



▲「初心者からベテランまで、アーバンエリアのソルトゲームならなんでもおまかせください」と吉岡さん



▲晴山さんに大ダコヒット!!
▼吉岡さんがタモに入れてよとした瞬間に晴山さんの大ダコは逃亡



▲晴山さんがバラした直後、鈴木さんに3キロ級の大ダコ



▲鈴木さんの連釣りに少々ご立腹の晴山さん



★吉岡さんもびっくり。50センチのクロダイを釣り上げた

釣れる釣れる
釣れぬは
次第

★いつもは3人で釣りをすることが多いけど、この日は吉岡さんが船長



Challenge #76

東京湾奥江戸川放水路出船

★マダコのは多摩川河口沖でマゴチ狙い



★当日のマダコは大中 小すべて釣れた

鈴木新太郎、晴山由梨

キャプテンはプロアングラー吉岡進 東京湾で豪華リレー釣りを楽しむ

●クレハフィールドスタッフ、プロアングラーの吉岡進さんが東京湾チャーターボートのキャプテンに就任。それならぜひ一度は乗船しなくては、と釣行したのが鈴木新太郎さんと晴山由梨さん。この日はチャーター船ならではのマダコとマゴチの豪華リレー釣りに挑戦となった。

★小回りが効き、機動力のある船なので移動も俊敏



◀マダコのうっぶんを晴らすかのように、40センチ級のキビレまで釣り上げてしまった



▲わずか12グラムのライトリグでマゴチを狙った
▶鈴木さんにまたもや大物、と思いきやツバクロエでした



その後はアタリなく、ラストチャンスに賭けた市川航路でもまたも晴山さんが竿を曲げ、今度は40センチ級のキビレを釣り上げたところでタイムアップとなり、船着き場に戻る。吉岡さんの巧みな操船技術、移動ごとの的確なアドバイスに2人とも感心することしきり。何より、笑いの絶えない賑やかな船上に2人とも大満足の表情だった。

で多摩川河口沖へ移動。ここでは14グラムのライトリグにフームを付けてのルアーマゴチ、キャストしてゆっくり巻いて止めるか、ボトムバンピングで広い範囲を探っていく。ここまで軽いリグは初めてとあって、晴山さんは吉岡さんにマンツーマンでコーチを受けている。ところがこの日は台風後の濁りがひどく、なかなかアタリはこない。もうダメかなと諦めかけたころ、晴山さんにアタリ。パワフルな引き上がったのは、なんとジャスト50センチのクロダイで吉岡さんもビックリ。

吉岡さんがキャプテンを務めるのは「F×F (エフバイエフ) TOKYO BAY」。船着き場は都心から至近の江戸川放水路だ。釣りやすいフラットデッキタイプボートで、東京湾の様ざまなソルトターゲットを釣り客の希望でチョイスできるシステムだ。この日、鈴木さんと晴山さんがリクエストしたのは旬のターゲット、マダコとマゴチのリレー釣りである。吉岡船長のエスコートでボートに乗り込み、まずは羽田沖の水深10メートル前後でマダコを狙う。2人ともマダコ経験はそれほど多くはないものの、道糸と仕掛け周りはシーガー製品で固めて完璧の布陣。釣り始めてすぐに鈴木さんが400グラム級を釣り上げ、晴山さんに見せつける。負けてはならじと晴山さんも根掛かりかと思っほどの竿の曲がり、明らかに大型の乗りである。ゆっくりとリールを巻き上げてくると、海面に姿を現したのは3キロはあるうかという大ダコ。ところが吉岡さんがネットを差し出したところで逃亡されてしまう悲劇。しばらくして鈴木さんに同サイズの大ダコがヒットして、「私の名前、書いてありませんか」と悔しがると同時に大笑い。その後はポツポツと小型のマダコが乗り、ある程度土産(鈴木さんはツバ抜け達成)になったところでマゴチ狙い